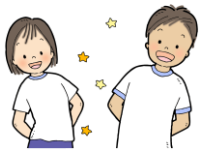

相ノ木っ子だより

平成３０年度
学校だより
５　月　号
上市町立相ノ木小学校

「一秒の言葉」にある重み

「ピロティ、走られんよ」「はい」という上級生と下級生のやり取り。「もう２５分やよ。そうじ、始まるよ」「うん、分かった」という同級生による会話。どちらも、同じ日の昼休み終わりにグラウンドで見かけた光景です。互いの温かな言葉かけと子供たちの成長にうれしくなりました。

相手を気遣い、教えてあげる「走られんよ」「そうじ、始まるよ」は、もちろん素敵な言葉掛けで、賞賛されるものです。しかし、わたしは、それらに対する「はい」「うん、分かった」により感激しました。言われたことに対して、何の躊躇もなく、即座に出た言葉だったからです。１秒にも満たない返答に、本当に素直でやさしい気持ちが表れていました。

もし言葉掛けに無言で返していたなら、教えてあげた子供たちは、その気遣いをもうしなくなるかもしれません。また、「別にいいにか」「そんなもん、分かっとるから」といった返しだったら、言い合いになるかもしれません。短くても、相手への理解や感謝が感じられる返事をしたことによって、自分、相手、聞いている人のやさしい成長を促すことができたのではないでしょうか。

照れくさかったり、意地を張ったりすることもあるかもしれませんが、子供たちには「一秒の言葉」を大切にしてほしいと思います。そこから、きっと素敵な関係がたくさん生まれていくことでしょう。

一秒の言葉　　小泉　吉宏

「はじめまして」　この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることがある。
「ありがとう」　この一秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることがある。
「がんばって」　この一秒ほどの短い言葉で、勇気がよみがえってくることがある。
「おめでとう」　この一秒ほどの短い言葉で、幸せにあふれることがある。
「ごめんなさい」　この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある。
「さようなら」　この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになるときがある。
一秒に喜び、一秒になく。一生懸命、一秒。

Good morning to all.

世界で一番歌われているのは何という曲だと思いますか。有名ポップアーティストの曲？クラシック音楽の定番曲？正解は、「ハッピー・バースデー」です。老若男女誰でも知っていますよね。世界中の人が、誰かの誕生日にこの曲を歌っています。

実は、原曲は今から１２５年前にアメリカでつくられた「Good morning to all」という曲です。出版の際に短すぎるということで、替え歌として歌われていた「Happy birthday to you」を載せたそうです。そのうち、２番の歌詞が広く歌われるようになったのです。

では、原曲の歌詞とは一体どういうものだったのでしょうか。

Good morning to you,　Good morning to you,
Good morning,dear children,　Good morning to all

「全ての子供たちに素敵な朝を」一日の始まりという当たり前の幸せを歌った曲です。誕生日を祝う「ハッピー・バースデー」も家族や友達の絆となる素敵な歌詞ですが、こちらも毎朝歌いたくなる歌詞です。

今朝も玄関前で、子供たち一人一人と「おはようございます」の挨拶、ハイタッチができました。毎朝のことですが、当たり前のことができる幸せを大切にしたいです。ご家庭でも、お互いに Good morning to you を言い合い、日々無事に過ごしている幸せを噛みしめていただきたいと思います。

百考は一行にしかず

５月８日（火）に５・６年生が田植えをしました。例年上荒又の田中敏文さんの畑をお借りして、サツマイモやヘチマ、ネギ等の栽培、収穫をしています。今年度、高学年担任より「水に恵まれた相ノ木校区なので、子供たちに米作りをさせたい。稲作農家の方の苦労を味わわせたい」という提案があり、田中さんに相談しました。営農組合に図っていただき、金盛節子さんの水田の一角をお借りすることができました。急な話で、田中さんや金盛さん、営農組合の方々にはたいへんご苦労、ご迷惑をおかけしましたが、皆さんに快く協力していただき、子供たちの米作りがスタートできました。

百聞は一見にしかず
百見は一考にしかず
百考は一行にしかず

これは、「聞くことよりも見ること、見ることよりも考えること、考えることより実行することが大切である」という言葉です。どの学びも大事ですが、そのプロセスこそ学びの本質ではないでしょうか。よく聞いて、事実を見て、自分の頭で考えて、試してみなければ、よりよい学習成果にはつながりません。

今回の田植えに始まる米作りは、５年社会科での米作り農業の学習や総合的な学習の時間の追究活動につながる、または生かすものです。５・６年生は、これから学ぶこと、あるいは学んだことを自分自身で実践、体験することで、より実感できる学びとしていくことができると思います。このことは、どの学年、どの教科でも大切にしていることです。時間のかかること、手間のかかることなので、全てのことでできるわけではありませんが、これからも「一行」にどんどんトライしていきたいものです。５・６年生は、地域の方の協力に感謝しながら、自分たちの手で苦労して米作りに従事することで、農業というもの、働くということにいろいろな思い、考えをもってくれることでしょう。

行事予定（5月中旬～6月中旬）

５月１９日（土）	３年親子ふれあい活動（自転車教室）	６月	３日（日）	２年親子ふれあい活動（ドッジボール）
２１日（月）	心臓検診（１年）		４日（月）	研修会 13:30 下校
２４日（木）	１年生歓迎集会 なかよし班結団式		５日（火）	教育委員訪問 耳鼻科検診
２５日（金）	４年校外学習（東部消防組合）		６日（水）	学校訪問研修会
２７日（日）	４年親子ふれあい活動（四季防災館）		１０日（日）	敬老会出演（２年）
２９日（火）	１年給食試食会		１１日（月）	内科検診
			１３日（水）	４年ふるさと学習
			１５日（金）	学習参観 教養講座 引き渡し訓練